

自衛官に定年ってあるの？



自衛隊は精強性を保つため、一般の国家公務員とは異なり、多くの自衛官は、

50代半ば以降【若年定年制自衛官】または

20代～30代半ば【任期制自衛官】で退職

することとなります。

自衛官の階級・年齢構成

区分	陸上自衛隊	海上自衛隊	航空自衛隊	定年年齢 ※R6.10.1予定 ()内はR6.2現在
将官	陸将	海将	空将	60歳
	陸将補	海将補	空将補	
佐官	1等陸佐	1等海佐	1等空佐	58歳 (57歳)
	2等陸佐	2等海佐	2等空佐	57歳
	3等陸佐	3等海佐	3等空佐	(56歳)
尉官	1等陸尉	1等海尉	1等空尉	56歳 ※R5.10に55歳 から引上げられた
	2等陸尉	2等海尉	2等空尉	
	3等陸尉	3等海尉	3等空尉	
准・曹	准陸尉	准海尉	准空尉	55歳 (54歳)
	陸曹長	海曹長	空曹長	
	1等陸曹	1等海曹	1等空曹	
	2等陸曹	2等海曹	2等空曹	
士	陸士長	海士長	空士長	-
	1等陸士	1等海士	1等空士	
	2等陸士	2等海士	2等空士	

若年定年制
自衛官

※事務官等の定年年齢と比較して、それより若年で定年を迎える自衛官
(事務官等の定年年齢は、R5.4.1より引き上げられ、R13年度に65歳となる。)

任期制自衛官

※一定の任期が満了することで退職することとなる自衛官

※各幕僚長の職にある陸将、海将又は空将である自衛官の定年年齢は62歳

※医官、歯科医官、薬剤官、警務官、音楽職種、情報分析等の業務に従事する1佐以下の自衛官の定年年齢は60歳



防衛省・自衛隊では、**雇用主たる国の責務**として、退職する自衛官に対する**再就職に有効な職業訓練などの様々な再就職支援施策**を行っています。